



白山ユネスコエコパーク
Mount Hakusan Biosphere Reserve

白山ユネスコエコパーク管理運営計画書

Mount Hakusan Biosphere Reserve

Management Plan

2019 - 2025

ユネスコ「人間と生物圏」計画

UNESCO MAN AND THE BIOSPHERE PROGRAM

白山ユネスコエコパーク協議会

Mount Hakusan Biosphere Reserve Council

管理運営計画書 目次

1. はじめに.....	1
1.1 ユネスコエコパークとは.....	1
1.2 ユネスコエコパークの仕組み.....	2
1.3 国内におけるユネスコエコパーク.....	2
2. 白山ユネスコエコパークの概要.....	3
2.1 登録.....	3
2.2 概況.....	6
2.3 ゾーニングと構成エリア.....	18
3. 管理運営計画の基本事項.....	27
3.1 計画の趣旨.....	27
3.2 計画の位置づけ.....	27
4. 管理運営の基本構想.....	30
4.1 全体テーマ.....	30
4.2 目的と方針.....	31
4.3 計画期間.....	32
4.4 管理運営の方針.....	33
4.5 管理運営の体系.....	37
5. 管理運営の施策.....	38
5.1 基本方針1の施策展開.....	38
5.2 基本方針2の施策展開.....	42
5.3 基本方針3の施策展開.....	45
5.4 重点方針の施策展開.....	50
6. 計画の実施.....	52
6.1 白山ユネスコエコパークの管理運営体制.....	52
6.2 計画の推進体制.....	55
6.3 実施状況の評価.....	57
参考資料.....	59
1.管理運営計画の策定経過.....	59
2.関連法規等.....	70
3.既存計画等.....	70

1. はじめに

1.1 ユネスコエコパークとは

「人間と生物圏(MAB)計画^{※1)}」(※MAB: Man And the Biosphere。以下、MAB計画という。)は、ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)の科学プログラムであり、1971年に開始されました。

その実践的なサイトとして、1976年から「生物圏保存地域」(英語名: Biosphere Reserve、和名通称: ユネスコエコパーク^{※2)}。以下、ユネスコエコパーク(BR)という。)の登録が進められ、2018年7月現在、122カ国686サイトで構成される世界規模のネットワークとなっています。

ユネスコエコパーク(BR)は、人間と生物圏(自然)の共生が大きな理念であり、「生物多様性^{※3)}の保全」、「学術的研究支援」、「経済と社会の発展」の3つの機能を維持向上させることで、持続可能な社会づくりを目指すものです。

ユネスコエコパークの3つの機能

生物多様性の保全の機能

人間の干渉を含む生物地理学的区域を代表する生態系を含み、生物多様性の保全上、重要な地域であること。

学術的研究支援の機能

持続可能な発展のための調査や研究、教育・研修の場を提供していること。

経済と社会の発展の機能

自然環境の保全と調和した持続可能な発展の国内外のモデルとなりうる取り組みが行われていること。

※1 人間と生物圏(MAB)計画: 1971年にユネスコが開始した、生物多様性の保護を目的に自然及び天然資源の持続可能な利用と保護に関する科学研究を行う国際的な取り組みのこと。

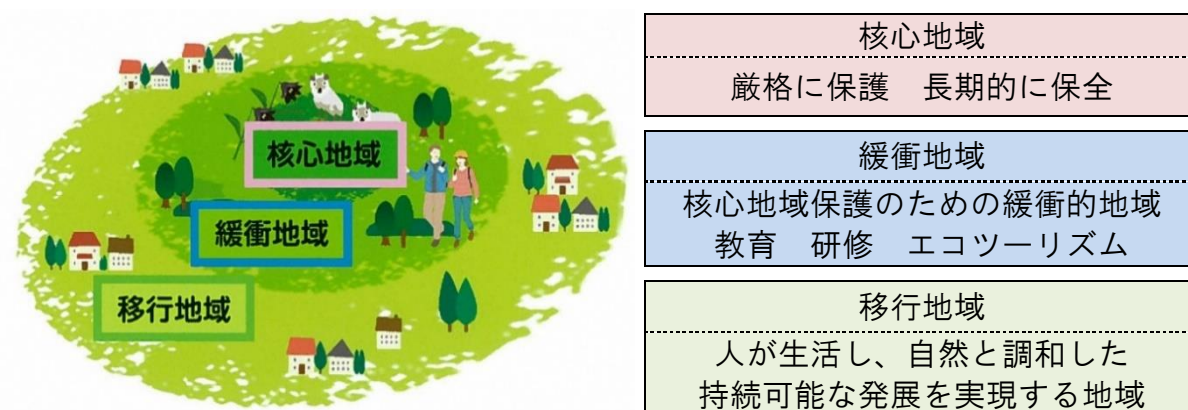
※2 ユネスコエコパーク: 生物圏保存地域により親しみをもってもらうために、2010年に日本ユネスコ国内委員会で決定された日本国内での愛称のこと。

※3 生物多様性: 生きものたちの豊かな個性とつながりのこと。遺伝子の多様性、種の多様性、生態系の多様性という3つのレベルでの多様性を意味する。

1.2 ユネスコエコパークの仕組み

ユネスコエコパーク (BR) は、核心地域 (Core area)、緩衝地域 (Buffer zone)、移行地域 (Transition area) の 3 つの土地管理区分 (ゾーニング) で構成され、それぞれの管理主体の責任の下、管理運営されています。

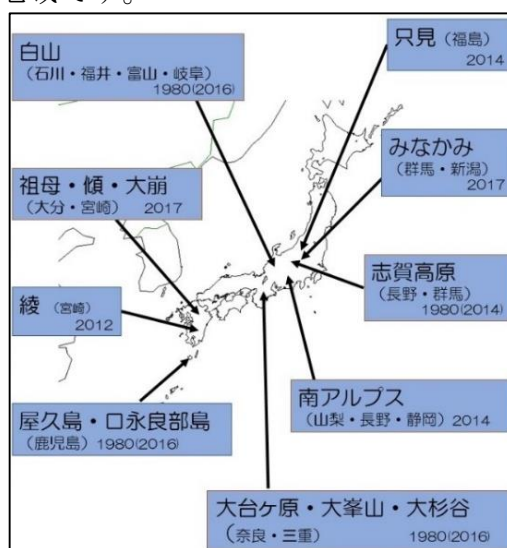
陸上・沿岸・海洋生態系を対象に、生物多様性の保全と生物資源の持続可能な利用を調和させることを目的としています。そのため、ユネスコエコパーク (BR) では管理運営計画を策定し、目的達成のための進捗管理をユネスコに定期的に報告する義務があります。



ユネスコエコパークの3つのゾーニングと特徴

1.3 国内におけるユネスコエコパーク

国内におけるユネスコエコパーク (BR) は、2017年6月現在、志賀高原 (長野県・群馬県)、白山 (石川県・福井県・富山県・岐阜県)、大台ヶ原・大峯山・大杉谷 (奈良県・三重県)、屋久島・口永良部島 (鹿児島県)、綾 (宮崎県)、只見 (福島県)、南アルプス (山梨県・長野県・静岡県)、祖母・傾・大崩 (大分県・宮崎県)、みなかみ (群馬県・新潟県) の9地域です。



日本のユネスコエコパーク (数字は登録年(拡張登録年))